

平成30年度 「豊かな心の育成」 推進プラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
<p>学校教育目標実現のために、〔希望〕〔幸福〕〔他愛〕あふれる、児童・保護者・地域・教職員にとって魅力ある学校づくりを進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの子どもが、日々の授業や様々な行事等において、主体的に課題を解決する学びを大切にし、授業力の向上に取り組みます。 一人ひとりの子どもに寄り添い、互いを認め合う心、豊かな心、そして、たくましく健やかな体を育むように努めます。 一人ひとりの子どもの学びと生活を支える教育環境の整備、改善を進めます。 一人ひとりの子どもが、地域の行事や交流活動を通して、まちに貢献する心を育みます。また、近隣の幼保小中高大学連携を進め、教育活動の充実を図ります。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

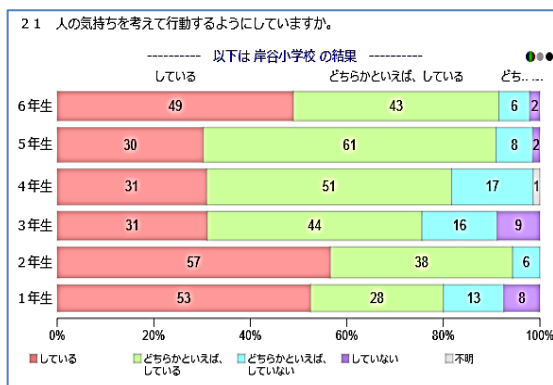
重点取組分野	取組目標	具体的取組
<p>豊かな心</p>	<p>道徳の時間のより一層の充実を図り、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切にしている心情や態度、自己肯定感を育みます。</p>	<p>道徳指導の目標と年間指導計画の見直しを行います。新しく道徳の教科書を使用するため、教科書で扱われている資料の内容・価値について教材研究を深め、適切に指導ができるようにします。平和スピーチ発表会、人権月間の取組を工夫し、児童の自他を大切にしている心情や態度を養うよう努めます。授業参観で年1回以上の公開をし、保護者との連携強化も図ります。</p>
<p>担当</p>	<p>人権教育 道徳</p>	

2 児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

平成28年度実施の横浜市学力・学習状況調査生活意識調査結果より、人の気持ちを考えて行動するようにしているかという質問項目に対して肯定的回答をしている児童の割合が少ない。自他を大切にしている心情、互いに尊重する意識が低い。

学習活動や学校生活の中で、互いにかかわり合いながら協働的に活動を進めていく経験が不足していることが原因と考える。

相手の立場になって考えることができず、友達とトラブルを起こしてしまうことも見受けられる。人との関わり方について、ソーシャルスキルも必要である。



3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「特別な教科 道徳」の充実

年間指導計画を作成し、道徳教育の要となる「特別な教科 道徳」の指導を通して、自己を深く見つけ、よりよく生きようとする道徳的実践力を身につけられるようする。

- 全学級の道徳授業公開を年1回以上実施する。
- 学校だより、ホームページ等を通じて、道徳教育の取り組みを家庭・地域に発信する。
- 道徳教育についての職員研修を行う。

指針2 協働的な体験活動の充実

- 高学年児童を中心に、あいさつ運動や震災・ユニセフ募金活動に取り組む。
- 地域行事（清掃、岸谷祭り等）への積極的に参加する。
- グループ活動など、協働的に取り組む活動の機会を積極的に設ける。